



⑨ 資源投入量	予算・決算	年度		総事業費	18年度決算		19年度決算		20年度決算見込		21年度予算	
		事業費(正規・嘱託・臨時職員の人件費を除く)			—	13,561	13,198	13,301	14,000			
		うち、当該個別事業事業費(各人件費を除く)※			—	13,561	13,198	13,301	14,000			
		財源内容	うち委託費・報償費		—							
			特定財源	国庫・県支出金	—							
				市債	—							
				受益者負担分(使用料等)	—							
				その他	—							
			一般財源		—	13,561	13,198	13,301	14,000			
		一般財源 + 市債		—	13,561	13,198	13,301	14,000				
人件費・投入業務量	正規職員	標準人件費		0.50	人	0.50	人	0.50	人	0.50	人	
		7,600	千円	3,800	千円	3,800	千円	3,800	千円	3,800	千円	
	嘱託職員	標準人件費			人		人		人		人	
		3,200	千円		千円		千円		千円		千円	
	臨時職員	標準人件費		0.25	人	0.25	人	0.25	人	0.25	人	
1,500		千円	375	千円	375	千円	375	千円	375	千円		
職員数計			0.75	人	0.75	人	0.75	人	0.75	人		
減価償却費	職員1人当たり標準減価償却費		180	千円	135	千円	135	千円	135	千円	135	千円
庁舎維持管理費	職員1人当たり標準庁舎維持管理費		210	千円	157	千円	157	千円	157	千円	157	千円
事業のトータルコスト			18,028	千円	17,665	千円	17,768	千円	18,467	千円		

※事業が複数の個別事業から構成されている場合は、上段に事業費を記入し、下段に当該個別事業の事業費を記入する

⑩ 数値目標	指標・名称		初期値	目指すべき目標値		18年度	19年度	20年度	21年度
	アウトプットに関する指標	参加者	12,000	対象者の7割参加	目標	12,224	12,043	11,414	対象者の7割参加
			(平成17年度)	(平成 1年度)	実績	11,000	11,000	10,000	
			( 年度)	(平成 年度)	目標				
			( 年度)	(平成 年度)	実績				
	アウトカムに関する指標	大人としての自覚	—	—	目標	—	—	—	—
			( 年度)	(平成 年度)	実績	—	—	—	
			( 年度)	(平成 年度)	目標				
			( 年度)	(平成 年度)	実績				

⑪ 目標達成度(20年度)	指標・名称		達成状況(20年度)	評価A~D	目標の達成及び未達成の理由、今後必要となる努力・対策
	アウトプットに関する指標	参加者	10,000	C	新成人がより参加しやすい日程等を検討するためにアンケート調査を実施(予定)。
	アウトカムに関する指標	大人としての自覚	—	C	大人としての自覚を促す啓発について、より効果的な手法等を検討する。

⑫ 要因分析	外部要因	事業実施の追い風となりうる外部環境	特になし		
		事業実施に支障となることが予測される外部環境	特になし		
	内部要因	関連事業	事業名		関連内容
			所管所属名		
			事業名		関連内容
			所管所属名		

⑬ 事業内容のチェック	項目		評価 A～D	所管部署の現状分析・理由
	事業の必要性の視点	必要性 市民が社会生活を営むうえで必要不可欠なサービスか	C	法令に「成人の日」の定めはあるが、記念行事の実施義務はない。
		公益性 サービスの提供により市民福祉が増大しているか	C	記念行事の実施により、法の趣旨に沿った「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほめます記念すべき日」になっている。
	実施主体の視点	代替性 市以外(民間、NPO、国、県など)が同種のサービス提供の実施主体となっている事例がないか	C	他の多くの自治体においても行政が主体である。
	共働の視点	共働 地域・企業・NPO等との連携し、共働できているか。役割分担が出来ているか	B	新成人を中心とした実行委員会にて企画・運営を行っている。
	連携・効果性の視点	連携 市の他局・他部又は国・県との連携や役割分担が出来ているか	B	対象者の把握のための情報について市民局から提供を受け、案内送付用のラベル作成について総務企画局の協力を得ている。
	受益者負担の視点	受益者負担 受益者の負担の現状はどうなっているか	D	記念行事の性質から受益者負担(参加費の徴収等)は馴染まない。
	有効性・効率性の視点	対象者 事業の対象や働きかけの相手方等について効果的な絞り込みが出来ているか	A	新成人のみを対象としている。
資源の有効活用 市が持っている社会資本・ストック(施設・調査資料等)を有効に活用しているか		A	実行委員会は市役所の会議室を利用しており、会場は「マリネット福岡」を利用している。	
コスト 業績の実績と投入コストを比較し、コストに見合う成果を上げているか		B	各区開催から全市へ一本化・記念品廃止・実行委員会への新成人参加など、見直しを行っている。	
これ以上コストを下げるためにできることは何か。もしくは、同様のコストでより大きな成果を上げることが可能か			新成人がより参加しやすい日程等の検討	

⑭課題と今後の取り組みの方向性	
課 題	今後の取り組みの方向性
新成人がより参加しやすい日程等の検討	アンケート調査の実施

⑮事業に対する所管部署の総合評価	
必要性	分析・理由
B	A 高い B C D 低い 国民の祝日に関する法律にあるように「成人の日」は「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほめます」記念すべき日である。この記念すべき日に、新しく成人となった者を祝福するとともに、大人としての自覚を促すため、全市をあげて成人の日記念行事を実施しているところである。全国的にも行政が主体となって記念行事を実施しており、今後も継続して実施する必要があると考えている。

⑯今後の事業展開		
今後の方向性	予想される今後の展開	事業終了の条件
I	I 拡充・継続 II 要改善 III 国/県/広域 IV 民間 V 縮小 VI 廃止 本市の成人の日記念行事は、国民の祝日に関する法律の趣旨などを考慮して「成人の日」当日に開催しているところであるが、現在、成人の日は必ず日曜日に続く月曜日となり、週休二日が浸透してきたことを考えれば、土曜日から三連休ということになる。そうすると、記念行事は三連休の真ん中の日に実施した方が、遠方にいる新成人も参加しやすくなるなど、何かにつけ集まりやすいということがメリットとして考えられ、また、市民の声においても日程の変更に関する意見が寄せられていることから、新成人がより参加しやすくなるために、アンケート調査を実施し日程の変更等を検討することとしている。	祝日「成人の日」の廃止